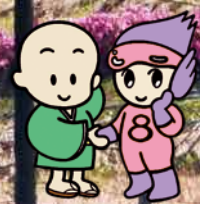


かみ ごみ お

3月定例会号
No.117



円心くんとエイトちゃん

令和3年度予算可決	P 2～3
一般質問	P 4～7
予算質疑	P 8～9
提出議案に対する表決	P 10
産業廃棄物処分場に係る調査特別委員会報告	P 11

継続審査報告	P 12～13
特集記事	P 14
議長通信・編集後記	P 15
モニター意見	P 16
表紙：「休治ツツジロード」平山博一氏撮影	

～ 見えない議会から
見える議会へ～
議会だより

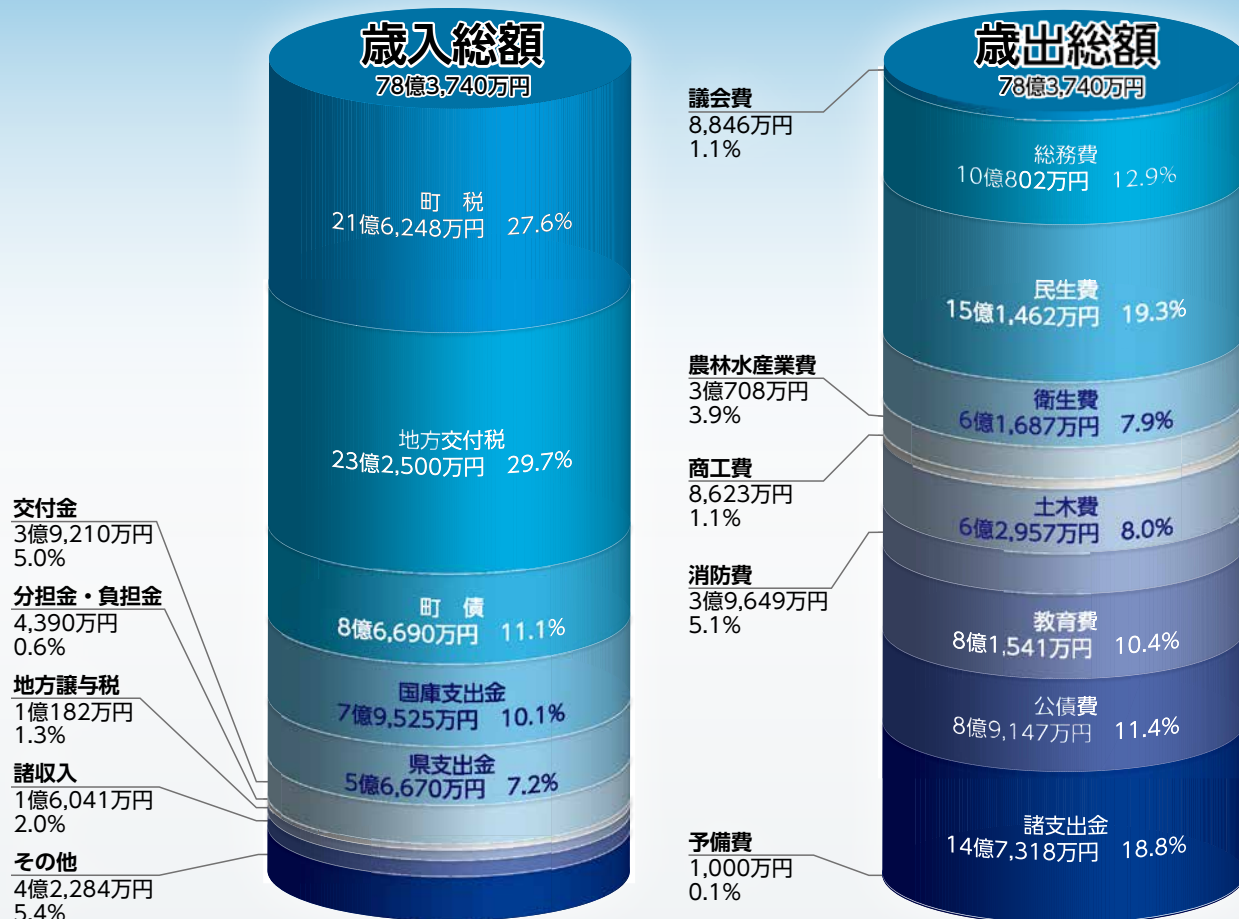
令和3年度予算可決

総額 158 億 3,235 万円

3月定例会

3月定例会は3月2日から3月24日まで23日間の会期となった。諸報告、委員の選任、請願表決に続き、町長の施政方針演説が行われた。審議された案件は、公平委員・固定資産評価委員の選任同意2件、一般会計補正予算の専決処分の承認1件、兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更をはじめとする27議案について審議した。これらについて慎重な審議を行った結果、すべて原案通り可決した。

一般会計



令和3年度 各会計の予算額

(千円以下は切り捨て)

会 計 名	令和3年度	増減額(前年度比)	増減率	会 計 名	令和3年度	増減額(前年度比)	増減率
一 般 会 計	78億3,740万円	△7億1,060万円	△8.3%	公 営 墓 園 事 業	350万7千円	8千円	0.2%
特 別 会 計				ケーブルテレビ管理運営事業	9,902万6千円	2,501万4千円	33.8%
国民健康保険事業	18億7,553万円	△2億39万3千円	△9.7%	水 道 事 業	17億2,989万9千円	6億4,243万9千円	59.1%
後期高齢者医療事業	2億8,226万8千円	1,145万9千円	4.2%	下 水 道 事 業	21億2,470万6千円	7,544万9千円	3.7%
介護保険事業	18億4,197万9千円	3,731万2千円	2.1%	特 別 会 計 小 計	79億9,495万1千円	5億9,179万4千円	8.0%
簡易水道事業	3,803万6千円	50万6千円	1.3%	合 計	158億3,235万1千円	△1億1,880万6千円	△0.7%



一般会計予算案に対する賛成討論



井口 まさのり

新型コロナ対策等による安全安心の基盤形成や財政健全化の取組効果が予算に反映され、子育て教育環境の充実など将来の人づくりに向けた施策により着実に公約の進捗が図られようとしている。さらに、懸案である中学校給食実現への町長の意気込みが感じられることから予算案に賛成する。



本林 宗興

コロナ禍で自主財源が減収となる中、小中学校等のコロナ対策、子育てアプリの導入、馬場参踏切や道路整備などの大型事業、中学校給食の導入検討を取り入れた予算である点、また、財政調整基金を取り崩さず予算編成をしている点を評価し、令和3年度予算に賛成する。



田淵 千洋

町民税等減収が予想される中、まちづくりの将来に向けた認定こども園建設・ZEB化事業を終え、令和3年度予算は、財調を取り崩すことなく、歳出を抑え、編成に努力したと考える。今後、中学校給食の実現、若者に選ばれるまちづくり、更なる自主財源確保に努力してほしい。

定期監査報告

令和2年度の事務事業の執行状況より、次の5項目に重点を置き実施した。

- (ア) 昨年度の定期監査及び決算審査の実施の際に改善を要する旨を指摘したものが、どのように対応されているか。
- (イ) 職員の執務規律、事務執行について指揮監督は十分か。
- (ウ) 各事業計画の実施は効率的か。また、職員の事務分担、事務処理体制は効率的か。
- (エ) 人事管理、職員の執務行動管理が的確であるか。
- (オ) 公印・車両等の重要物品の管理は適正であるか。

監査結果及び意見

昨年度の定期監査での指摘事項は、概ね改善されている。また、今年度の定期監査の結果、財務に関する事務の執行等は概ね適正に処理されているが、次のとおり意見を付す。

- ①各種提出書類の適切な事務処理を継続し、緊張感を持って業務に当たること。
- ②小中学校と同様に、幼稚園等でも外部からの入構に対するチェック体制の強化を検討すること。
- ③会計年度任用職員の出退勤管理・確認方法の統一化を図ること。
- ④コロナ禍においても住民サービスの向上に努めること。
- ⑤更なるコンプライアンスの徹底に努めること。



監査委員 山本守一、西後竹則

Q 出生者数 33 人は危機的では

A 選ばれる町になり改善を目指す



本林宗興 議員

問 近隣市町より出生者数の減少が極端では。

企画政策課長 第2期まち・ひと・しごと総合戦略で取り組みたい。

問 町長は教育で人口減少問題等を解決する施策をとっているが。

町長 教育は非常に重要だ。

「夢ひらく教育」を進めていく。

問 施政方針に社会増対策とあるが具体的には。

町長 子供の自立、友達作り・周りに目を向ける、その様な教育を行いたい。

問 市街化調整区域での開発行為には時間がかかりすぎではないか。

町長 過去の事例でも2年半位かかった。また、廃校の再利用でも半年以上協議し頓挫した。

問 市街化調整区域の事前緩和施策が必要では。

町長 西播都市計画区域に定められており、事前緩和は難しいが、個別事案として時間短縮を図りながら協議していく。

問 JR利用促進問題の現況は。

町長 JRは重要な移動手段であり本町の生命線だが、現行輸送量に余力があるとの見解であるので町内の交通の充実を図り利便性の確保に努める。

問 駅の橋上化や南口整備、B&Gへの吊り橋構想は。

町長 現行では予算面も含め不可能である。

問 調査費を計上して予算化することは。

町長 調査費も難しい。

問 町民アンケートだけでも実施できないか。

企画政策課長 住民満足度調査の中では可能であるが方向性が必要だ。



▲駅の橋上化が望まれる

下水道事業を問う

問 下水道施設統合計画について

上下水道課長 令和3年度から施設統合計画に着手する。

問 工事の財源は。

上下水道課長 社会資本整備総合交付金で検討。



一般質問

Contents

- ・ 本林宗興 議員
出生者数 33 人は危機的では …………… p. 4
- ・ 田淵千洋 議員
男女共同参画事業が必要…………… p. 5
- ・ 立花照弘 議員
「施政方針」防災力の向上とは …………… p. 5
- ・ 木村公男 議員
「かくれ谷」の利用と展望は …………… p. 6
- ・ 山田 正 議員
住民投票条例の廃止を提案…………… p. 6
- ・ 松本じゅんいち 議員
産廃が町消滅を早めるのでは…………… p. 7
- ・ 井口まさのり 議員
観光協会の組織力向上について…………… p. 7

※各議員頁の QR コードでは、一般質問がご覧になれます。

町長の令和3年度施政方針

町長 遠山 寛



人口減少や少子・高齢化が進む中、新型コロナウイルス感染拡大による人々の働き方や意識の変化は人口密度の低い地方への分散・移住への可能性を秘めている。

最優先課題である感染症対策に注力した上で、何よりも住民の安全安心を守り抜くことを基本に、

- 地域の元気づくり
- 社会増対策
- 自然増対策
- 健康長寿社会の実現

を重点施策として、「住みたい町、行きたい町」として選ばれるまちづくりを進めていく。

また、引き続き平成 28 年に策定した「上郡町第5次総合計画」に掲げる次の5つの柱に沿って総合的かつ戦略的に取り組む。

1. 安全安心で快適に住み続けられるまちづくり《定住環境》
2. 地域で支え合い健やかに暮らせるまちづくり《保健・医療・福祉》
3. 人・地域・文化を愛する人を育むまちづくり《教育・文化》
4. 地域資源を活かした雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり《産業》
5. みんなで創り進めるまちづくり《協働・行政経営》

Q 「施政方針」 防災力の向上とは

A 消防団組織の再編に取り組む



立花照弘 議員

問 消防団の現状は。

住民課長 令和2年と平成12年の比較で団員数は約30%減の441名、分団数は平成16年比較で19分団36部から19分団22部に減少した。

問 消防団員の出動手当や退職金のなどの待遇改善の

取り組みは。

住民課長 基本的には近隣市町と同程度になっており、今後も状況を把握しながら手当の維持に努めたい。

問 消防団の再編により不要となった屯所や火の見櫓の撤去費用の助成は考えられないか。

住民課長 現在は消防施設整備事業補助金制度で施設の拡充強化策はある。屯所の取り壊し費などの補助制度はない。今後の課題として検討したい。



▲ 分団の統廃合による火の見やぐら・屯所の撤去費の助成制度の創設を

子ども医療の助成拡充は

問 以前に他の議員も質問したが、中学生までの医療費助成の所得制限の撤廃はできないか。

町長 以前の答弁と同じ状況である。財政上の問題もあり、もう少し財政的にゆとりが出た段階で考えたい。

国保介護支援室長 所得制限を撤廃するには約600万円の財源と国保負担金などの減額ペナルティが発生する。

山陽道野麿駅家(やまのうまや)と発掘調査中の高田駅家(たかたのうまや)の活用は

問 高田駅家の発掘(佐用谷)が進められているが状況は。

教育総務課長 現在、兵庫県立考古博物館が昨年度から発掘調査をしている。昨年は西側と南側の築地塀の跡が発見されており、野麿駅家で出土した瓦と同じ模様のものが出土している。

問 今後の対応は。

教育総務課長 調査成果が具体的に判明してから県の教育委員会と相談したい。



Q 男女共同参画事業が必要

A 次年度から取り組む



田淵千洋 議員

問 町における新型コロナワクチン接種計画は。

健康福祉課長 65歳以上の高齢者から、生涯学習支援センターを中心に集団接種。4月以降の土曜日午後と日曜日午前を予定。接種後の副反応にも対応。3月下旬コールセンターを設置予定。個別

接種も順次調整する。高齢者の負担軽減や移動を補完するために、高齢者向け送迎バスの運行を調整中だ。

問 がん治療中や治療後も安心して学業や就業に専念できるよう、医療用ウィッグなどの補正具購入費用を助成する「がん患者アピランス・サポート事業」の取り組みは。

健康福祉課長 所得制限はあるが、補正具等の購入に対し、購入費の2分の1(上限額5万円等)を助成する。

問 不妊治療を受ける夫婦は5.5組に1組、まずは夫婦同時に検査を行うことが重要だが、経済的負担は大きく、不妊治療ペア検査助成を行うべき。

健康福祉課長 保険適用外の不妊治療に係る検査費用については、本人負担が3割になるよう県とともに助成する(所得制限等あり)。

問 豊岡市ではジェンダーギャップ解消により、都心部に出た若い世代の女性に選ばれる地域づくりに取り組んでいるが、本町でも、女性の活躍の場を広げ、人材を育てる環境を整えるべきである。

性別による固定的役割分担意識にとらわれず、地域・家庭・職場でそれぞれの個性・能力が発揮できる社会づくりが必要であるが、なぜ男女共同参画事業の推進に取り組まないのか。

町長 次年度から計画の策定を検討する。

教育総務課長 女性の起業支援セミナーやジェンダーの視点から人権教育などを行っている。



▲ 2022年4月から不妊治療に公的医療保険が適用になります。



Q 住民投票条例の 廃止を提案

A 十分検討の上対応を考える



山田 正 議員

問 「上郡町の合併について
の意思を問う住民投票条例
とその規則」は、全体の利益
を優先して人権を制限して
いるのではないかと。障がい
者を具体的に規定しており
不適切だ。

総務課長 適切でない部分
が改正されないまま残って

いる。条例の必要性も踏まえて今後の対応について検討する。

問 刑事施設などに入所している人にも、選挙権があれば投票する権利がある。住民投票条例の情報は届くか。

総務課長 入場券は、登録された住所に送るので、そこから連絡すれば不在者投票は可能だ。ただ住民投票条例は、上郡に住所を有する方になるので、現実には即していない。

問 条例の中に、人権を害する文言が含まれており、条例としては失格ではないか。

町長 十分検討の上対応を考えていきたい。

自治会人権学習について

問 学習の目的はなにか。

教育推進課長 すべての人権問題に対して、町民一人一人が自らの課題として、積極的に取り組む町を将来の町の姿と位置付けている。

問 今後の在り方はどうするのか。

教育推進課長 今年度については、兵庫県人権啓発協会作成の、コロナウイルス感染に係る啓発ビデオをケーブルテレビで流すなど、臨機応変に取り組んでいく。

問 令和3年度の実施予定は。

教育推進課長 コロナウイルス感染状況、ワクチン接種にもよるが、基本的には予防対策を取りながら進めたい。詳細については3年度に入り説明する方針だ。



▲ 安らぎと潤いのある環境に感謝



▲ 誇りを持てる住みよい町づくりをめざそう



Q 「かくれ谷」の 利用と展望は

A PFI事業*1導入も視野に検討



木村公男 議員

問 上郡町ピュアランド山の
里周辺の利活用状況と管理
体制について問う。

産業振興課長 さくら園の管理は環境整備を森林組合に委託し桜の保護育成管理をおこなっている。

問 さくらウォークなどの利活用は。

産業振興課長 コロナ収束後は継続して実施し、ライトアップも観光協会と連携し継続したい。

問 上郡森林体験の森の管理対策について。

産業振興課長 ワークハウストイレの維持管理を地元山野里に、各種利活用事業と林内整備は森のわくわく倶楽部に活動委託している。

問 「かくれ谷」の利活用
状況と展望について問う。

産業振興課長 定期的にトレイルランニングの会場やボーイスカウトの野外活動に活用。近年、事業社の資 ▲有効活用を待つ通称「かくれ谷」材の保管場所として一時貸出しに利用した。今後、整備活動については高校生の事業提案や住民の意見やアイデアにより利用方針を考えることも必要と考える。

町長 様々な提案を受けた上でPFI事業*1 導入も視野に検討を進めたい。

問 産業の振興と雇用の確保について。

町長 清流千種川の水に恵まれているため、おいしい農産物ができ、一定の基準を満たした産品を上郡ブランドとして位置づける取り組みを進める。

問 婚活事業について。

町長 男女出会い機会の提供を含めたサポート事業を通じ男女共に結婚を促していきたい。

問 ICTを活用した婚活イベントについての考えはあるか。

企画政策課長 予算的なこともあるので調査・研究した上、そういう手法も考えていきたい。

*1 PFI事業とは
公共施設等の建設や維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を行うこと。



Q 観光協会の組織力向上について

A 事務組織の体制整備を検討する



井口まさのり 議員

答 観光案内所を、観光振興の拠点として情報発信や特産品を提供する場等構築し、さらなる観光振興を図るため、観光協会の事務組織の体制整備を行う。

問 広域連携による観光施策について検証されているか。

町長 観光資源が少ない当町にとって、広域圏枠での観光振興施策の連携は特に期待できる。

問 広域連携での観光施策を向上する上で観光協会は

重要な役割である。観光協会を独自の組織にするべき。



▲ 観光案内所を拠点に観光振興を

町民団体と町の係わりについて

問 法律を無視し、可能性論で反対運動をする「上郡町産廃問題対策協議会」と町の係わりについて問う。

町長 産業廃棄物最終処分場の建設に反対している住民団体という認識であり、要望や意見に対して回答を返すのみだ。

問 梨ヶ原・西有年地区最終処分場建設安全対策研究協議会は、反対・賛成を訴えていても法律上問題がなければ処分場は建設されることから、業者に対し、安全対策を訴える団体と聞いているが、当町との関係について問う。

副町長 組織としての情報がない。今後係わりについては検討する。

地域自主防災について

問 避難場所にエアコンの設置が必要と考えるが当町の見解は。

町長 現時点での検討はしていない。

問 産廃反対ばかりに気をとられて自主防災組織の運営が滞っている。自主防災組織が整っていない地区はどこか。

住民課長 現在7地区のうち6地区はできているが、鞍居地区ができていない。



Q 産廃が町消滅を早めるのでは

A 若者の流出防ぐ施策を進める



松本じゅんいち 議員

問 町民が産廃処分場施設の構造に危惧している。例えば遮水シートから汚染水の漏れを最終チェックできるよう観測井戸が設置される。ところが漏水した汚染水は、それぞれ一定の道筋を流れるため、限られた位置にある観測井戸を通過せず、漏水を

検知できない。法律は完璧でない。

町長 不安全をぶつけていただければ、先頭に立って業者と交渉する。

問 「美しい自然を守ってキレイな田舎であってほしい」と期待する若者たちの想いと、産廃処分場の姿をみる若者たちの想いにずれが生じるはず。



▲ 産廃反対・市民グループが、街頭宣伝活動に向けて、準備中の様子

町長 風評被害の拡がりを防ぐなど対策を講じる。

問 著名な学者が産廃の話題がなかったころ、上郡町は2040年、人口減で消滅すると予想した。最近の資料ではさらに人口減が進行。産廃は人口減に拍車をかけ、消滅を早める。産廃の町をどこの自治体が受け入れてくれるか。改めて産廃問題を真剣に考えるべきだ。

町長 人口動態は想定したより悪い。中学卒業生にたくさん残ってもらえるなど、施策を進めたい。

不祥事再発防止の取組は

問 昨年続いた職員不祥事で町民に不信が募った。その後の取り組みを問う。

総務課長 報告書の取りまとめを終えた。公務員としての倫理、コンプライアンス全般について、職員が取るべき行動、禁止事項など網羅し、今後の再発防止に努める。

集落の維持管理に不安

問 高齢化で農地や道造り、溝掃除、ため池管理など不透明。村の将来をどう受け止めているか。

産業振興課長 多面的機能交付金事業を活用し5年先を見据え、事務の簡素化をはじめ、地域を活かした取り組みを進めている。



令和3年度 予算質疑



松本 じゅんいち

問 若年がん患者^{にんようせい}妊孕性温存療法費補助金制度と、予算が半減した理由は。

答 県が令和2年度から始めた補助制度。町内で実績こそないが町も参加した。治療費の最高額を60万円と見込み、本人1/2、県と町が各1/4負担する。昨年の数字は記載ミスだった。

問 情報システム事業で9,500万円余を計上。その内訳は。

答 約8割が機器のリース料、残りは経費。

問 町にシステム課を導入し業務を効率的に改善できないか。

答 庁舎全体の広範囲な業務を、職員1人や2人で遂行するにはかなり難しい。



本林 宗興

問 歳入に於いて不動産売払収入3,274万円を計上しているが内容は。

答 駅前土地他4筆を計上している。

問 不動産価値はあるものの数年売れていない、売却方法は。

答 みなと銀行を通じて住宅会社の紹介を依頼。

問 税収に於いてコロナ禍で想定以上に減収した場合の措置は。

答 普通交付税の基準財政収入額に下振れ部分が反映するが、反映するのは75%で残り25%の留保財源については歳出の執行抑制を行う。場合により財政調整基金の投入で対応したい。



木村 公男

問 不燃物処理事業の機器更新に伴うシステム改修委託料増の理由は。

答 栗原の一般廃棄物最終処分場は竣工時には 15 年間の埋立計画としていたが平成 28 年度に計画を見直し、埋立終了予定年度を令和 33 年度まで延伸。機器の老朽化もあり、漏水検知システムは概ね 10 年から 15 年の耐用年数をすでに超えており新システムに更新するもの。

問 埋立終了予定までに再度更新が必要か。

答 埋立計画期間中に同様の機器更新が必要。

問 最終処分場を何か違う目的で活用する予定はあるか。

答 現在のところなし。



立花 照弘

問 農業振興費 強い農業・担い手づくり総合支援助成金1,508万円の内容と財源及び他地区への普及効果は。

答 赤松地区での法人化に伴う倉庫や乾燥機施設整備である。国からの財源で補助率は10分の3で町負担分は全額国補助。農業を維持する上で法人化は重要であり、他地域からの問い合わせがあれば積極的にお知らせする。

問 野磨駅家（やまのうまや）発掘調査費641万円の内容は。

答 埋蔵文化財発掘調査事業で内容確認調査を行う。主な事業費は調査委託費である。



田淵 千洋

問 徴税業務でコンビニ収納は実施されているが、自宅からでもできるアプリ収納は検討しないのか。

答 令和 3 年度システム改修を行い、令和 4 年度からスマホによるアプリ収納を開始したい。

問 宿泊型産後ケア事業実施内容は。

答 産後の支援が受けられない母親と乳児を対象に、姫路の日赤、聖マリア病院と委託契約をし、1週間程度、体を休めてもらう宿泊型産後ケアを実施する。



井口 まさのり

問 本庁舎 ZEB 化整備による経費削減効果はどのように予算に反映されているのか。

答 燃料代、地下タンクの点検やボイラーの排ガス測定に係る役務費、空調設備の保守点検委託料の削減など約 600 万円の効果を見込んだ予算とした。

問 町長の公約である中学校給食について調査研究費を予算に盛り込まれているが、実現に向けた町長の意気込みを再確認したい。

答 今期残した課題の一つでもある。できるだけ早い時期に実現したい。

提出議案に対する表決

案 件 (※印は各委員会に付託された案件)		備考	議決結果	議決日	松本 じゅんいち	本 林 宗 興	木 村 公 男	立 花 照 弘	山 田 正	田 淵 千 洋	梅 田 修 作	井 口 ま さ の り	山 本 守 一
1	西有年に計画されている産業廃棄物最終処分場についての請願※	平成 29 年 請願第 2 号	不採択	3/ 2	○	×	○	×	×	×	—	×	×
2	西有年に計画されている産業廃棄物最終処分場についての請願※	平成 29 年 請願第 3 号	不採択	3/ 2	○	×	○	×	×	×	—	×	×
3	梨ヶ原自治会内において計画中の産業廃棄物最終処分場建設について地元である船坂連合自治会・梨ヶ原自治会の意見を尊重する議決表明を求める請願※	平成 29 年 請願第 4 号	不採択	3/ 2	×	×	×	×	×	×	—	○	×
4	上郡町公平委員会委員の選任につき同意を求める件	松本 優 氏を 選任	可決	3/ 2	○	○	○	○	○	○	—	○	○
5	上郡町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	村山 実 氏を 選任	可決	3/ 2	○	○	○	○	○	○	—	○	○
6	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
7	工事請負変更契約締結の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
8	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
9	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
10	上郡町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
11	上郡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
12	上郡町介護保険条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
13	上郡町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件※		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
14	上郡町指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件※		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
15	上郡町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件※		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
16	上郡町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件※		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
17	上郡町観光案内所の設置及び管理に関する条例制定の件※		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
18	上郡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
19	令和 2 年度上郡町一般会計補正予算の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
20	令和 2 年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
21	令和 2 年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
22	令和 2 年度上郡町下水道事業会計補正予算の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
23	令和 2 年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業補正予算の件		可決	3/12	○	○	○	○	○	○	—	○	○
24	令和 3 年度上郡町一般会計予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
25	令和 3 年度上郡町特別会計国民健康保険事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
26	令和 3 年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
27	令和 3 年度上郡町特別会計介護保険事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
28	令和 3 年度上郡町水道事業会計予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
29	令和 3 年度上郡町特別会計簡易水道事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
30	令和 3 年度上郡町下水道事業会計予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
31	令和 3 年度上郡町特別会計公営墓園事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○
32	令和 3 年度上郡町特別会計ケーブルテレビ管理運営事業予算の件		可決	3/24	○	○	○	○	○	○	—	○	○

○印は賛成を、×印は反対を示し、「欠」は表決に参加しなかったことを示す。「—」は、議長のため表決に参加しなかったことを示す。

簡易表決による可決・報告・承認等 (2議案)

- ①上郡町選挙管理委員会委員及び補充員選挙の件
- ②専決処分したものに付き承認を求める件 (令和 2 年度上郡町一般会計補正予算の件)

議 会 活 動 報 告 11月～2月

議会運営委員会 (2 回)・総務文教常任委員会 (1 回)・民生建設常任委員会 (2 回)・全員協議会 (2 回)・広報特別委員会 (3 回)・産業廃棄物処分場建設に係る調査特別委員会 (1 回)・定期監査 (4 回)・月例出納検査 (4 回)・播磨高原広域事務組合議会・新都市協議会・にしはりま環境事務組合議会 (2 回)・東備西播定住自立圏形成推進協議会・地域公共交通活性化協議会・かみごおり川まつり執行委員会・都市計画審議会・兵庫県町議会議長会 (2 回)・兵庫県市町村職員退職手当組合議会・監査委員協議会総会・成人のつどい

産業廃棄物処分場建設に係る調査特別委員会報告 (継続審査)

請願2号・3号(申請団体が違うが内容は同じ)

西有年に計画されている産業廃棄物最終処分場建設についての請願(計画阻止・反対の決議表明を求める)。平成29年11月24日受理

請願4号

梨ヶ原自治会内において計画中の産業廃棄物最終処分場建設について地元である船坂連合自治会・梨ヶ原自治会の意見を尊重する議決表明を求める請願。平成29年11月28日受理

経過

特別委員会は9回、現地研修1回を開催しており、専門的な見解が必要との意見から、7つの心配される事案について有識者会議へ見解を求めている。令和3年2月1日に回答を受けた。

特別委員会(2月18日開催)

- 議会からの要望に対する有識者会議からの回答について
- 請願について

問 有識者会議より「疑問があれば事業者に対応を要求することが肝要だ」とあるが、行政は事業者と安全対策について協議するのか。

答 今後、事業計画書が出た時点で再度有識者を交えて審議する。その段階で事業者に質疑し不安を解消するような施設を模索する。

問 有識者の意見は「大きな問題は無い」となっている。問題が有る場合の提案もあり反対する根拠とはならないと思うが町長の考えは。

答 住民の安全安心を守る義務がある。有識者の提案を参考にして安全安心な施設になることを求めたい。

問 申請者の適格という点はどう考えるか。

答 県からの意見照会に対する回答に付していく内容と考えている。

問 最新設備とはどのようなものか。

答 RO膜や漏水検知システム、脱塩装置など安全性を確認しながら進めている。また、地元住民による監視、チェック体制についても協議している。

請願審査結果 請願2号・3号について

【反対討論】

- ・有識者会議は「国の基準は一定の科学的根拠をもって定められており、日本の産業廃棄物最終処分場の環境上の安全を確保されてきたのも事実」とある。可能性を追求する反対の意見は尊重できないので採択に反対する。
- ・議員必携にも明示されている。また、有識者会議の意見を聞くなど十分審議した。以上の理由で採択には反対する。

【賛成討論】

- ・環境アセスの結果がまだ出ていない。申請者が事業者として決定していないことを危惧しており採択に賛成する。

結論

採択に賛成3反対5で不採択と決定した。

請願審査結果 請願4号について

【反対討論】

- ・町の権限に属さない、許可権者である県が厳しい判断基準により判断すべきで採択には反対。

【賛成討論】

- ・地元の方々がしっかりと対応されているので採択に賛成する。

結論

採択に賛成1反対7で不採択と決定した。

令和2年度主な予算の補正

(千円以下は四捨五入)

会 計 名	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計(専決)	428万円	105億3,557万円	新型コロナワクチン接種に係るシステム改修費等の増額
一般会計	6,974万円	106億531万円	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保等経費の増、農業振興事業補助金の増、上郡ピュアランド山の里損失補填金、事業繰越(新型コロナウイルス感染症対策関連事業含む)に係る調整など
特別会計	285万円	20億8,182万円	国県支出金返還金の増額
特別会計	800万円	18億3,937万円	介護サービス保険給付費の増額
特別会計	849万円	8,251万円	事業決算見込みに伴う改修基金積立金の増額

注) 補正額100万円以上の会計を記載

同意案件



公平委員会委員

新任

氏名 松本 優

住所 高田台



固定資産評価審査委員

新任

氏名 村山 実

住所 大枝

査 報 告

総務文教常任委員会（2月8日開催）

第7次行政改革大綱について

現在パブリックコメント実施中にある第7次行政改革大綱（案）、同推進計画（案）について報告を受けた。また、第6次行政改革大綱推進計画についても、実績値をもとにした報告があった。

【主な質疑応答】

問 各種申請等行政のデジタル化については、どのように考えているか。また、財源はどう考えているか。

答 押印の見直しとセットで、電子申請の実施に向けて調整している。ウイルス感染症対策における地方創生臨時交付金が、新しい生活様式への対応に対する財源である。

問 ICTやAIなどデジタル化を進める中で、民間企業の副業制度を活用した専門人材の投入など、より一層考える必要があるのではないか。

答 今後、デジタル化の推進において、民間企業の専門人材の配置など、考えていく必要があると考える。また、窓口業務などの民間委託といったことも検討している。

【主な意見】

- 職員が減少していく中、「地域でできることは地域でやっていく」ことをしっかりと啓発していく必要がある。
- 情報発信としてSNSの活用など、より一層進めてほしい。



▲ 建設進捗状況（4月10日）

町立認定こども園整備について

- 町立認定こども園新築工事の進捗状況について現地視察を行い、6月完成を目指し順調に進んでいることを確認した。
- 6月定例会にこども園設置条例を上程するにあたり名称を決める必要がある。上郡町唯一の公立認定こども園であることから、公募はせず町名を冠にして町内外への位置づけを明確にするため、「上郡町立上郡こども園」（案）を考えているとの報告を受けた。
- 昨年実施したこども園開園についての説明会において、保護者のアンケートから不安に感じるものとして幼稚園では制服や昼寝について、保育所では時間帯や担任などについて質問があったとの報告があった。



▲ 現地視察（2月8日）



▲ DEN（デン）保育室に作られた子どもたちの隠れ家

民生建設常任委員会（2月5日・16日・3月1日開催）

一般廃棄物最終処分場（下栗原）の今後の計画について

- ①本施設は令和33年度に埋立完了予定。現時点で約50%達成。計画通り到達できる見込みとの説明があった。
- ②本施設の今後の方向性や、大阪湾フェニックス事業についての概要説明がされた。

【主な質疑応答】

問 施設の今後の具体的な維持管理の取組みは。

答 検知システムは施設を停止せず更新を行う。施設の修繕は計画的に行う。

問 フェニックス事業との関連性は。

答 喫緊に搬入する計画はないが、緊急搬入のための体制は維持したい。

上郡ピュアランド山の里の運営について

本施設の新型コロナウイルス感染症による影響について、担当課及び指定管理者（株）グッドプランニングから説明を受けた。

当施設は前年度に比べ集客が大幅に減少し令和2年度は約2,200万円収支赤字の見込み。協定書に基づき補正予算で損失補填する予定。

指定管理者から、コロナ禍による影響を熟慮し、経費節減に努めるとともに、宿泊・レストラン・宴会、イベント企画、風呂の効能効果など町おこしにつなげたいとの説明があった。

産業廃棄物処理施設建設（梨ヶ原・西有年）に対する意見照会について

住民課から3月1日付で県に回答書を提出したとの報告を受けた。

担当課から、有識者会議の経過説明と、当会議座長から提示された「条例に係る事業計画事前協議書について（照会）」に対する意見書、並びに県からの照会に対する町の回答書について説明があった。

照会事項は以下4項目

- ① 周知範囲・周知方法について
- ② 生活環境保全上の措置について
- ③ 地域計画上の事項について
- ④ 関係法令手続きについて

【主な質疑応答】

問 周知範囲は①安室川から千種川の合流地点までとある。②水質希釈倍率は100倍になるところまでというが、①②の関連性を問う。

答 現在、該当河川の流量情報が存在しないので、今後の環境影響評価で予測することとした。判断は県がする。



▲ 安室川と千種川の合流地点付近

問 周知範囲に風評被害も加えるように。

答 関係住民については、県の要綱に加え範囲を大きくして県に回答する。

問 地震に危惧するが。

答 ボーリング調査により安全性を確認することになる。

問 処分場は播磨自然高原から見下ろす位置。景観の配慮や安全安心の観点から町として付記する考えは。

答 環境影響評価の項目で、配慮されるよう要請することは可能と考える。

問 「森林法違反の行為あり」とあるが不起訴不処分であり記載するのか。

答 行為自体はなくならないので、表記は残す。

【意見】

- 開発に伴う周辺環境や事故・災害防止など対策を講じ、地域に十分配慮されているか精査されたい。
- 慎重で丁寧な環境影響評価の実施を望み、申請者の適格性についても明示を求む。

特集

コロナ禍における 小学校での取り組み



▲各小学校を訪問しました（3月18日総務文教常任委員会）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている状況にあっても、各小学校では創意工夫を凝らした独自の試みで、学びや子どもたちの豊かな心の形成を深める活動がなされています。先般、総務文教常任委員会に所属する議員が小学校を訪問しました。その際行われていた取り組み事例を紹介します。

上郡小学校

上郡小学校では、コロナ対策の一環として毎日の検温など健康観察に継続して取り組んでおり、町長から感謝状が贈呈されました。検温表を使用し、毎朝、家庭で検温や健康観察を行いました。この取り組みが、自分と他者、地域を守ることの意義を理解し、忘れる児童がなくなり実績を上げました。また、この検温表の忘れなしの取り組みが、学習準備の忘れ物の低下につながり、新たな教育的効果、人間形成に発展しています。



山野里小学校

山野里小学校では、子どもたちの豊かな心と言語感覚を育てることを目的として、全校で音読に取り組んでいます。

毎日、授業前の「朝の会」の中に『はりきりタイム』という時間を設け、みんなで詩や昔話の一節を声に出して読みます。高学年では古典や有名な俳句を題材にして、声をそろえリズムよく読んでいきます。毎日の練習で暗唱できる子もいます。

声を出すことが「気持ちいい」「楽しい」と感じられるように音読に取り組むことが、子どもたちの元気な発表の声や、学習発表会での歌声につながっていきます。

高田小学校

高田小学校では、取り組みのひとつとして百人一首の暗唱があります。最初は、諺のフラッシュカードをみんなで声を合わせて読みました。9月下旬より暗唱に取り組み、3月までに20人中15人が百首を暗唱したので、二人組のカルタもだんだん速く取れるようになっていきました。百首暗唱に向けて、子ども同士が学び合い、共に達成しようと励むなど集団としての高まりがみられます。





議長通信

現在の広報委員会委員が携わる「議会だより」も本号で最後となり、次号からは新しい広報委員での編集となります。この間、議会の傍聴や議会だよりモニターとして寄稿いただいた上郡高等学校の皆さま、表紙写真を提供いただいた平山様、特集記事で快く取材を受けてくださった各種団体の皆さま、そして議会だよりを読んでいる住民の皆さまをはじめ、すべての方々に心より感謝を申し上げます。

議会改革の最重点課題として、議会だよりの刷新に取り組んで参りました。住民の皆さまと係わりながら議会だよりを作りたいとの思いから、町内で活躍する団体への取材、表紙写真の公募、印刷業者様からのレイアウトの提案やQRコードの活用、紙面のカラー化などを行うことができました。まだまだ取り組まなければならない課題も多く、その改革は道半ばにあります。今後も手に取って読んでもらえる議会だよりを目指して取り組むよう委員一同心合せを行った次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

梅田修作

編集後記

新型コロナ禍が始まり丸1年。3月は、注目の月でもありました。

- ①昨年6月、県は町に梨ヶ原・西有年産廃に対し、4項目の意見照会をしていました。町長は有識者会議の答申を踏まえて3月1日に回答しました。(P13に関連記事)
- ②町民生活に直結した令和3年度予算が決まりました。コロナ禍で歳入は昨年より8.3%減です。(P2に関連記事)
町民が健康で安全で安心して暮らしていけるか、①・②とも今後どのように推移するのか、目が離せなくなります。

(松本じゅんいち)

会議録は議会ホームページへ

町のホームページからアクセスできます。
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)



「議会だより かみごおり」の表紙写真募集

上郡町議会では、町民の皆様にも議会広報紙がより身近なものとなるよう、議会だよりの表紙写真を募集します。下記の応募要項を確認の上、応募申込書を記入し提出をお願いいたします。

- ①上郡町内で撮影したもので、自作かつ未発表のもの。
(合成写真、組写真、画像修正したものは除く)
- ②作品は、800万画素以上のファインダーモードで撮影したもの。
(目安：デジタル画像 3.6MB から 10MB まで)

募集要項・申請書



モニターの意見



兵庫県立上郡高等学校

モニター意見について

全頁カラーになりとても見やすくなった。特に、町花のダリアは、これまでの写真と比べてまったく印象が変わりました。これなら、町でダリアを見かけた時に、「町花のダリア」という印象を持ってもらえるのではないかと思います。

また、「私はココを指摘しました」のコーナーは、どの議員さんがどのような主張をされたのかがとても分かりやすいと感じました。今後も継続していただければと思います。

議会での一般質問等での発言内容では、専門用語が使われるのは仕方ないかと思いますが、やはり難しくて読みにくいです。議会での審議の結果何がどのように変わったのかを、だれもが理解できるよう表や図で出来るだけ分かりやすく示されると、住民の議会への関心も高まるのではないかと感じました。

QRコードからの動画はとても綺麗で見やすいです。視聴数はまだ少ないですが、是非見てください。

(上郡高校地域活性化プロジェクトチーム)



町花ダリア

議会放送は  YouTube でご覧になれます



次の議会は6月4日 10時より開会予定

本会議は自宅のケーブルテレビ(えんしんネット)でもご覧になれます。



かみごおり議会だより No.117

令和3年5月14日発行

発行／兵庫県上郡町議会
編集／議会広報特別委員会

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278番地
☎(0791)52-3512 FAX(0791)52-6650
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kamigori.lg.jp